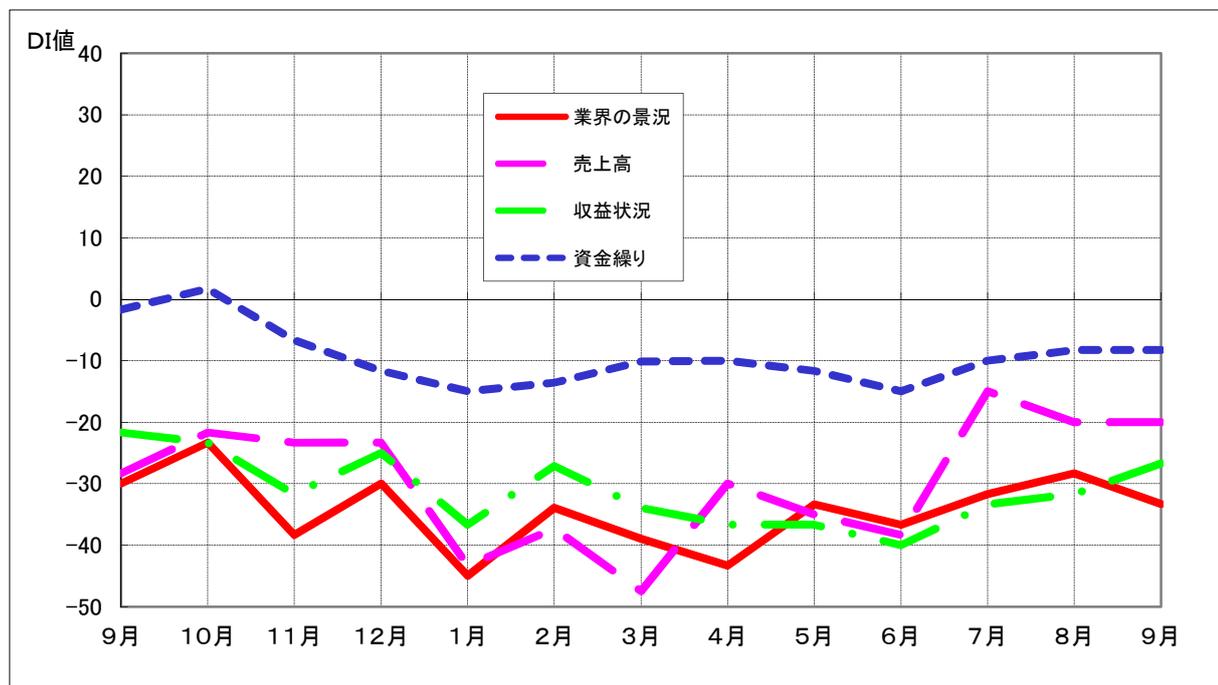


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値

平成26年9月～平成27年9月

単位:ポイント



H26

H27

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
業界の景況	-30.0	-23.3	-38.3	-30.0	-45.0	-33.9	-39.0	-43.3	-33.3	-36.7	-31.7	-28.3	-33.3
売上高	-28.3	-21.7	-23.3	-23.3	-43.3	-37.3	-47.5	-30.0	-35.0	-38.3	-15.0	-20.0	-20.0
収益状況	-21.7	-23.3	-31.7	-25.0	-36.7	-27.1	-33.9	-36.7	-36.7	-40.0	-33.3	-31.7	-26.7
資金繰り	-1.7	1.7	-6.7	-11.7	-15.0	-13.6	-10.2	-10.0	-11.7	-15.0	-10.0	-8.3	-8.3

○9月のDI値は前月と比べ、1項目が悪化し、1項目が改善した。2項目については変動はなかった。「業界の景況」DI値は5.0ポイント悪化したが、「収益状況」DI値は5.0ポイント改善した。「売上高」DI値、「資金繰り」DI値は変わらなかった。前年同月と比べると、3項目が悪化し、1項目が改善した。「業界の景況」DI値は3.3ポイント、「収益状況」DI値は5.0ポイント、「資金繰り」DI値は6.6ポイント悪化したが、「売上高」DI値は8.3ポイント改善した。

9月の連絡員の報告からは、シルバーウィークというキーワードを用いた報告が多く、長期連休による売上高増加の恩恵を受ける業界、恩恵の少なかった業界があった模様。また行政が発行しているプレミアム商品券に関して、商店街から「プラスアルファの消費行動に繋がっていない」旨の報告があった。前月も他地区の商店街から「プレミアム商品券を完売できるか不安」との懸念の報告があった。今年度のみを見ても、「業界の景況」DI値と「収益状況」DI値が対前年同月比で一貫して悪化傾向にあり、先行きを注視する必要がある。

○組合の特記事項からは、スポーツ用品小売業から、9月は大型連休があり、店売りはそこそこだが、外商が上手く回れずマイナス。連休は業界の足を引っ張る。可能な限り従業員を外に出しているが、売上につなげていない、との報告があった。一方で、広告業からは、イベントシーズンということもあり時期的に多少忙しい傾向。来月以降も上向きになるよう期待したい、との報告があった。商店街からは、シルバーウィークがあったが、商店街の通りは人影もまばらで閑散としていたとの報告があり、連休における各業界の売上高模様に差があった。